

TOPICS

学長主催外国人留学生オンライン新年会を開催 1/28

各キャンパス（幸町、三木町医学部、林町、三木町農学部）の会場をオンラインで接続し、学長主催外国人留学生オンライン新年会が開催され、本学の外国人留学生、教職員、地域の方々等、約80名が参加しました。この行事は、学長主催により、母国を離れ異国の地で勉学に励んでいる本学の外国人留学生を励ますとともに、留学生相互、教職員及び

地域の方々等関係者との交流の輪を広げる機会として毎年開催しているものです。今年度はコロナ禍のため、例年のように留学生が一同に会して開催することを避け、各キャンパスで設定した会場間をオンラインで接続。また、各会場においては、三密を避け、マスクを着用し、換気・消毒等、新型コロナウイルス感染防止策を徹底して実施しました。



三木町農学部キャンパス会場の集合写真

NTTドコモとの連携協定を締結 1/28

香川大学と(株)NTTドコモは、アカデミア人材の知見とIoT、AIなどの先端技術を融合し地域課題解決に取り組むことを目的として連携協定を締結しました。連携事項は、「①産業創出と維持、発展に関する事項 ②地域に根差した新たな学び方、働き方の実現に関する事項 ③豊かで安全な暮らしの実現に関する事項

④その他、IoT・AI等の先端技術の利活用による地域課題解決に関する事項」です。社会全体のデジタルトランスフォーメーションの推進、実装が求められるなか、香川大学とNTTドコモは相互に連携と協力を図り、地域に根差した新たな学び方、働き方の実現などに取り組みます。



NTTドコモのデモ機を体験する片岡理事（右端）

「四国人財育成成熟」立ち上げのためのシンポジウムを開催 2/3

ポストコロナ社会に向け、様々な社会課題に対応できる「人財」の育成を目指す「四国人財育成成熟」立ち上げのためのシンポジウムを開催しました。会場参加109名、Zoom参加6名、YouTube視聴329名の参加がありました。第1部では、前京都大学総長の山極壽一氏から「人類の進化とコロナ後の社会」というテーマで特別講演が行われました。山極氏は、コロナ禍において対面でのコミュニケー

ションが制約される中、自己肯定感や自己実現感、社会とのつながりが失われやすいことを指摘し、コロナ後の社会では、情報通信機器の賢い利用と五感を通じた交流の両立が必要になると訴えました。その後、山極氏、浜田県知事、寛学長の3者による特別対談が行われ、2030年代の社会を見据えて今後の日本や四国のあり方について意見交換がなされました。



特別対談（左から司会の鴨居氏、寛学長、浜田県知事、山極氏）

観測データの南海トラフ地震・津波災害対策への活用に関する連携協力協定を締結 2/5

香川大学は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人海洋研究開発機構及び坂出市との間に「観測データの南海トラフ地震・津波災害対策への活用に関する連携協力協定」を締結。幸町キャンパスで行われた締結式には寛学長及び坂出市の綾市長が会場参加し、防災科研の安藤慶明理事は東京事務所から、海洋機構の阪口秀理事は横須賀市の本部からオンラインで参加しました。本協

定は、防災科研が運用する「陸海統合地震津波火山観測網」等から得られる観測データ、海洋機構が持つ津波即時予測とその高度化技術、本学が持つ防災情報科学技術と地域への啓発活動、坂出市の地域情報を互いに共有・連携することで、理学・工学・社会科学の総合的な研究成果を地域に実装し、災害の被害軽減と安全な対応に持続的に取り組む環境を構築することを目指し連携・協力します。



記念撮影（左から綾市長、坂口理事、安藤理事、寛学長）



KADAIGEST 2021 2



定期演奏会 OB・OGの皆さまと一緒に総勢20名を超えて演奏「送り囃子の夜」を披露 賑やかなお祭りが目に浮かぶとても迫力のある曲です



「この首とまれ」で有名「龍星郡」を披露



上級生による息の掛った演奏



艶やかに深みのある尺八の演奏



事は、美しい音、漂とした音、おしとやかな音など、1年生、10月に行なわれた部内演奏会で初披露 様々な音を出すことができる楽器です



糸の余韻があり風情のある三味線の演奏



響きが豊かな十七絃の演奏

香川大学 邦楽部竹友会

私たち邦楽部竹友会では、日々、和楽器の合奏を行っています。主に箏、三味線、尺八の3つの楽器を組み合わせることによって、抑揚や迫力のある演奏を奏でていきます。私が入部を決意したのは新入生歓迎祭で竹友会の野外コンサートを見た時でした。やさしい箏の音色が鳴り響いたと思ったら、わっ！と全ての楽器の音が重なり私の前を通り過ぎていく感覚を抱きました。強く心を動かされた私は、自分もこんな演奏がしたいと思い入部しました。指揮者もいない中、息ぴったりな合奏ができるのは心が通じているからではないでしょうか。合奏中は皆で一つの大きな船に乗っている気分になります。穏やか

な空気も、張り詰めた緊張感も、演奏を通して共有している気分になります。昨年度の定期演奏会では、同期全員で「龍星群」という非常に難しい曲を披露しました。箏の速弾きが上手くて思わず苦勞しましたが、ラストの跳ね上げるような音を全員で決めたときはなんともいえぬ達成感を感じました。竹友会は部員18人中15人が、入部してから楽器を始めた初心者です。和気あいあいと楽しみながらも真剣に練習に励んでいます！主に週に2回、幸町キャンパスで活動しています。機会があればぜひ演奏を聞いてみてください。竹友会、和楽器に興味のある方はTwitterまでご連絡ください。

活動場所・幸町キャンパス
活動時間・月と木曜日の19時～21時
部員数・18人
Twitter/@kadai_tikuyu



サークル歴3年
農学部3年
谷口 葵

香川大学学生危機管理連合 3団体それぞれの強み「通信・防犯・防災」を融合し、南海トラフ大地震等に備える



連合加盟団体集合写真（左から、香川大学防災士クラブ、香川大学学生総合防災無線局、香川大学防犯パトロール隊の各構成員） 危機管理に関する学生団体が初めて1枚の写真に写った。

香川大学学生危機管理連合（以下、連合）は、2020年6月に「香川大学学生総合防災無線局」「香川大学防犯パトロール隊」「香川大学防災士クラブ」の3団体が加盟し創設しました。当該加盟3団体は、香川大学内の学生団体の内、特に危機管理分野を活動内容に含む団体であり、それぞれの強みである「通信」「防犯」「防災」が融合することにより、新たな事業への展開を行うことが可能となっています。連合は国際連合を参考とした独自の組織体系を有しており、総会、安全保障審議会、事務局、安全保障局、専門委員会を設置、各加盟団体からの出向者又は公募による人員等で運用しています。

これまで各加盟団体との連携・調整や訓練を実施してきました。2020年11月に実施した

「令和2年度香川大学学生危機管理連合総合防災訓練」は、学生がゼロから企画立案実施し、連合加盟団体構成員と連合事務局局長など34名の学生が参加。学生主体という初の試みとなった訓練でしたが、各加盟団体同士の結びつきの重要性を認識することができ、同時に多くの課題を見つけることができました。今後も訓練を学生主体で行うとともに、新たな事業を模索していきたいと考えています。

多くの組織は「通信なら通信」「防犯なら防犯」「防災なら防災」と別れてしまっており、有事の際に円滑な連携が行えなく、また、それぞれの情報共有が実施されにくいことがあります。香川大学の学生が「通信」「防犯」「防災」の融合をモデルケース（カダイモデル）として全国に発信することにより、多様

な危機管理の重要性の周知を図るとともに、南海トラフ大地震発生時等において人命や財産を円滑に保護できるところに本活動の価値が生まれています。将来的には、全国的な通信関係組織、防犯関係組織、防災関係組織での連携を深めるにとどまらず、より多様な分野の組織との結びつきを深められるよう、未来へつなげていきたいと考えています。

現在、連合では構成員を公募しています。他の大学では経験できないことが、ここでは、あなたの力で経験できます。興味のある方は、ホームページをご覧くださいか、メールでお問い合わせください。

香川大学学生危機管理連合
ホームページ
mail : kagawa.u.ucm@gmail.com



令和2年香川大学学生危機管理連合総合防災訓練 集合写真
訓練参加者：連合加盟各構成員、連合事務局員



搬送訓練
日頃使い慣れていない担架を4人が息を合わせて使用した。初めて担架を使用するのにも手取った場面もあったが、無事に搬送を行えた。



通信訓練
学内を巡回中の班や防災士会の方と無線で交信し情報を集約。1度に複数の情報がもたらされ混乱が生じた場面もあったが無事に集約できた。



防災における様々な課題を解決するため私たち学生にできることは何かを考えたときに、まずは香大生の防災意識の向上や連携が重要であると考えました。私たちが訓練等を開催することで、今まで防災・危機管理に関心がなかった方にも、興味関心を持ってもらい日頃から防災意識を持って生活してもらえたらと思っています。これらの活動に加えて、私は事務局長として連合全体の役割分担や調整、情報共有の徹底を行うとともに各機関との連携を強められるよう活動しています。

香川大学学生危機管理連合事務局長
富永 侑駿



はじめまして。香川大学学生危機管理連合安全保障局の危機管理官を務めさせていただきます。教育学部1年、矢石心愛です。当局の活動はまだ準備段階にあります。今後の活動方針としては、主に各サークルに対する危機管理マニュアルの作成指導があげられます。危機管理マニュアルというのは、学生の命や安全を守るための指導書のようなものです。この活動を通して、更に香川大学の安全面へ貢献できたらと思っています。

香川大学学生危機管理連合安全保障局長
矢石 心愛

学生総合防災無線局



災害時には有線通信が使用できなくなり情報伝達が困難になる可能性があります。無線通信は生き残り情報を伝えることが可能です。学生総合防災無線局では災害時に無線通信が有効であることを発信し非常通信の研究等を目的として活動を行っています。事業内容は多岐にわたり、無線局運用事業や連携事業、育成事業などを実施。「つなぐ」プロジェクト事業については2018年以降香川大学学生支援プロジェクト事業に毎年採択されています。

香川大学学生危機管理連合審議員
岡 龍駿（香川大学学生総合防災無線局）

防犯パトロール隊



こんにちは、私たち防犯パトロール隊は、香川県警と連携し、夜間のパトロールや小学生の見守りなど、地域の安全を守るための活動を行っています。学生の立場から少しでも人の役に立てていることに誇りを感じながら活動をする毎日です。また、「持続可能な活動」をモットーに、楽しく活動していることが最大の売りです！これからも地域の安全のために一致団結して頑張ります！

香川大学学生危機管理連合審議員
山田 康祐（香川大学防犯パトロール隊）

防災士クラブ



防災士クラブは地域啓発活動と被災地支援活動を主に取り組んでいます。地域啓発活動では小学生や高齢者を対象としたイベントを開催し、被災地支援活動は自然災害によって被災した地域に足を運び、ボランティア活動を行っています。日常生活では得られない経験をすることができ、とてもやりがいがあります。防災士クラブに興味がある方は一般教養科目の防災リテラシー、防災コンピテンシーを履修し、防災士を取得してみましよう。

香川大学学生危機管理連合審議員
田中 健太郎（香川大学防災士クラブ）